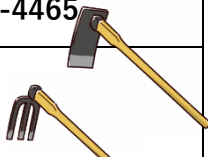


おかざき有機農業塾開催要項



目 的	有機農業に新たに取り組みたい方を対象に、有機農業の基礎知識と基本技術の習得を目標とし、有機農業の社会的意義や魅力等が学べる場として講義と実習を行う。		
日 時	①令和 7 年 9 月 3 日(水) ③令和 7 年 10 月 1 日(水) ⑤令和 7 年 10 月 29 日(水) ⑦令和 7 年 11 月 26 日(水) ⑨令和 7 年 12 月 24 日(水) ⑪令和 8 年 1 月 28 日(水) ⑬令和 8 年 3 月 4 日(水) ⑮令和 8 年 4 月 1 日(水) ⑰令和 8 年 4 月 29 日(水) ⑲令和 8 年 5 月 27 日(水) ㉑令和 8 年 6 月 24 日(水) ㉓令和 8 年 7 月 22 日(水) ㉕令和 8 年 8 月 19 日(水)	②令和 7 年 9 月 17 日(水) ④令和 7 年 10 月 15 日(水) ⑥令和 7 年 11 月 12 日(水) ⑧令和 7 年 12 月 10 日(水) ⑩令和 8 年 1 月 14 日(水) ⑫令和 8 年 2 月 18 日(水) ⑭令和 8 年 3 月 18 日(水) ⑯令和 8 年 4 月 15 日(水) ⑰令和 8 年 5 月 13 日(水) ⑱令和 8 年 6 月 10 日(水) ㉑令和 8 年 7 月 8 日(水) ㉓令和 8 年 8 月 5 日(水)	開催時間：9 時～12 時 内容：講義（前半） 実習（後半） ※天候等によって、講義と実習の時間が変わる場合もあります。 
場 所	岡崎市農業支援センター 研修室及び有機農業モデルほ場 (東阿知和町字乙カ 116 番地) TEL:0564-46-4490 FAX:0564-46-4465		
講 師	 公益財団法人自然農法国際研究開発センター フェロー 岩石 真嗣 氏 		
講義の 内 容	有機野菜作での課題は、害虫防除と土づくり（育土）です。有機農業を実践する上で効果的な方法とその仕組みを講義と実習を通して考えながら、身につけます。支援センター内に設けられた有機農業ほ場を使って、有機野菜作に必要な育土や病虫害の発生を抑える作付けの実習作業を行います。 自然界には様々な動植物が暮らしています。動植物の暮らす耕地土壌と生物がつくる系（システム）を耕地生態系と呼び、耕地土壌や作物を住処とする動植物がお互いに影響しあっています。雑草や害虫による作物への被害を防ぐため、数種の野菜や牧草を間作すると、作物と競合しない草と天敵や無害な昆虫が増え、様々な生物が増殖する多様な耕地生態系ができあがります。雑穀や牧草を 1 年を通して作付け、畑に日陰をつくると天敵とその餌が増えて害虫の突発が防げます。また、穀類の落ち葉や枯れ草が地面を覆い作物の根が深く拡がると、土壌の保水力は高まり肥沃な土壌が育ちます。殺虫剤を使わずに虫害がどれだけ予防できるのか、作業の工夫や作付け体系を学びながら、一緒に体験してみましょう。そして、ご自分の畑にあう作業機の利用や有機野菜作技術を考えてみましょう。		
対 象 受講資格	農業の基本的な知識があり有機農業を実践してみたい方 		
注意事項	①実習について なるべく、全日程の参加をお願いいたします。 実習に必要な鎌、鍬、三角ホー、バケツ等の農機具類及び肥料、種苗等はセンターで準備しますが、長靴、手袋、帽子等については各自でご準備ください。 収穫物はお持ち帰りいただけます。 ②研修中の保険等について 受講中のけがや事故等は自己の責任において処理してください。市へ補償、賠償の請求はできません。必要に応じ、受講者ご自身で傷害保険等にご加入ください。 ③日時について 天候及びセンターの都合により変更する場合があります。		